

競技・施設課の主な事業の取組状況 と今後の取組について

目 次

| | |
|---------------------------------|---|
| あいちトップアスリート発掘・育成・強化事業について | 1 |
| 国民体育大会における本県選手団の成績について | 3 |
| 障害者スポーツ事業について | 4 |

あいちトップアスリート発掘・育成・強化事業について

(1) あいちトップアスリートアカデミー事業

小中学生を中心に愛知県全域からスポーツ能力に長けた子供たちを発掘し、各競技団体等と連携して育成に取り組んだ。

ア 発掘プログラム

各コースの対象と定員は、キッズ（小4、小5）各最大20名程度、ジュニア（小6、中1、中2）各最大20名程度、ユース（中学生以上）最大30名の合計最大130名。

(ア) キッズ・ジュニア選考会

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため2020年度生の募集は中止。2019年度生のうち、希望者に対し、アディショナルプログラムを実施した。

(イ) ユース選考会

中・高・大学生以上の県民を対象に、2020年度生の選考会を開催した。募集17名に対し、合格者13名。（2020年度指定競技：水泳（飛込、水球女子）、ボート、ビーチバレーボール、レスリング、ラグビー女子、アーチェリー、トライアスロン）

イ 育成・パスウェイプログラム

(ア) 育成プログラム

実技を中心とした競技体験プログラム（キッズ・ジュニア）や専門競技プログラム（ユース）と、講義を中心としたスポーツ教養プログラム（キッズ・ジュニア・ユース）を20回程度（開校式、修了式を除く。）実施した。講師は競技団体や大学等に派遣を依頼した。

(イ) パスウェイプログラム

競技に関する情報提供や、体力測定の結果や競技団体による評価を基に面談を実施するなどして、適性に合った競技を選択させる。

【事業スケジュール】

| 2020年度 | | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|---------|------|--------------|-----------|----|---------------------|----|-----------------|--------------------|-----|-----|-------|-----|----|
| 2019年度生 | ジュニア | 活動休止 | | 修了 | アディショナルプログラム（希望者のみ） | | | | | | | 修了式 | |
| | ユース | 活動休止 | 専門競技プログラム | | | | スポーツ教養プログラムへの参加 | | | | | | |
| 2020年度生 | ユース | 募集・競技体験会・選考会 | | | | | | 育成プログラム（2022年3月まで） | | | | | |
| 2021年度生 | ジュニア | | | | | | | | | | チラシ制作 | 募集 | |

(2) 2026 年アジア競技大会等選手強化事業

新型コロナウイルス感染症により、各種大会の中止・延期やスポーツ施設の閉鎖、外出の自粛要請等が行われたことを踏まえ、補助対象外としているトレーニング器具の購入について、今年度に限って特例措置として追加で認めた。

ア 強化指定選手強化事業

○ オリンピック・アジア競技大会等強化指定選手

- ・日本代表レベルの競技力を有する若い 22 歳以下の選手 140 名を強化指定選手として認定し、競技用具費や遠征費等を補助した。
- ・東京 2020 オリンピック・パラリンピック開催延期に伴い、23 歳以上の選手で、東京 2020 オリンピックへの出場が内定している選手等 28 名を追加で認定し、競技用具費や遠征費等を補助した。
- ・強化費のうち 1 / 2 を限度としていた競技用具購入額について、限度額を撤廃した。

○ パラリンピック・アジアパラ競技大会等強化指定選手

日本代表レベルの競技力を有する選手 27 名を強化指定選手として認定し、競技用具費や遠征費等を補助した。(年齢制限なし)

イ アスナビ説明会

アスナビは JOC が実施するトップアスリーの就職支援事業である。JOC と連携し、大学等卒業後も安定した生活環境で競技に専念できるように、本県出身の選手が地元企業に就職できる環境をつくる。

今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、説明会は中止とした。

(3) あいちパラトップアスリート発掘・育成事業

あいちトップアスリートアカデミーにパラアスリート部門を新設する。

国民体育大会における本県選手団の成績について

1 第75回国民体育大会本大会

鹿児島県において開催が予定されていたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催延期となった。2023年に特別大会としての開催が決定している。

2 第76回国民体育大会冬季大会スケート・アイスホッケー競技会

(1) 期 日

2021年1月27日(水)から1月31日(日)までの5日間

(2) 会 場

スケート(ショートトラック・フィギュア) 名古屋市

スケート(スピード) 岐阜県恵那市

アイスホッケー 豊橋市、長久手市

(3) 愛知県選手団

(ア) 役 員

団 長 箕輪田 晃 公益財団法人愛知県スポーツ協会理事長

副団長 藤嶋 典弘 公益財団法人愛知県スポーツ協会常務理事

総監督 大参 孝彰 愛知県スポーツ局競技・施設課長

本部長 井戸田 仁 公益財団法人愛知県スポーツ協会スポーツ科学委員会委員長

総 務 藤本 あかね 公益財団法人愛知県スポーツ協会主任

〃 和久 佳代 愛知県スポーツ局競技・施設課主査

(イ) 監督・選手

| | 男子 | 女子 | 合計 |
|----|-----|-----|-----|
| 監督 | 5名 | 3名 | 8名 |
| 選手 | 49名 | 12名 | 61名 |
| 合計 | 54名 | 15名 | 69名 |

選手団合計 75名(本部役員6名、監督・選手69名)

(4) 成績

※()内は前年の順位

| 順位 | 男女総合成績 | 女子総合成績 | 順位 | 男女総合成績 | 女子総合成績 |
|----|---------|---------|----|---------|---------|
| 1位 | 北海道(1) | 長野県(1) | 5位 | 兵庫県(7) | 福岡県(9) |
| 2位 | 長野県(2) | 北海道(3) | 6位 | 神奈川県(8) | 兵庫県(8) |
| 3位 | 愛知県(10) | 神奈川県(7) | 7位 | 大阪府(11) | 山梨県(14) |
| 4位 | 埼玉県(6) | 愛知県(5) | 8位 | 福岡県(11) | 三重県(無) |

※男女総合3位は2015年第70回大会以来。

3 第76回国民体育大会冬季大会スキー競技会

2021年2月18日から21日までの4日間、秋田県において開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。

障害者スポーツ事業について

1 障害者スポーツ大会事業について

(1) 愛知県障害者スポーツ大会の開催

障害のある方々が、スポーツ活動を通じて健康の増進と社会参加の促進を図るとともに、県民の障害に対する理解を深めることを目的とし、愛知県障害者スポーツ大会を実施している。

※ 2020年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止

○ 2021年度実施予定

| 実施競技 | 実施日 | 会場 | 2020 参加者数 |
|-----------|--------------|---------------------------------|-----------|
| ソフトボール | 4月10日 | 口論義運動公園野球場 | — |
| ボウリング | 4月17日 | 星が丘ボウル | — |
| 卓球（視覚障害） | 5月15日 | 岡崎市子ども発達支援センター体育館 | — |
| 陸上 | 5月22日 23日 | 豊田市運動公園陸上競技場・球技場 | — |
| フライングディスク | 5月22日 | | — |
| 水泳・卓球 | 5月29日 | 安城市スポーツセンター 東祥アリーナ安城（安城市体育館） | — |

2019年度の取組み

2019年に実施した愛知県障害者スポーツ大会（陸上、フライングディスク）では、昼休憩時にとこなめちんどん「ほんもの屋」によるパフォーマンス【写真右下】を実施したり、手作りおもちゃコーナー、飲食物の提供【写真左下】など、競技以外にも多くの方が楽しめる大会運営に取組んだ。



競技の様子 車いす陸上



競技の様子 フライングディスク



(2) 第21回全国障害者スポーツ大会への選手団派遣

毎年度秋に開催される国民体育大会終了後に、その開催都道府県で引き続き行われる国内最大の障害者スポーツ大会に愛知県選手団を派遣する。

○ 開催地：三重県

○ 大会期間：2021年10月23日(土)～10月25日(月)

(選手派遣期間は10月21日(木)～10月26日(火))

○ 選手団結団式：2021年10月9日(土)

※ 2020年度の第20回大会(鹿児島県)は、新型コロナウイルス感染症の影響により2023年度に延期

<参考> (第19回大会実績 ※大会は台風の接近により中止のため成績なし)

| | 実施競技 | 選手 | 役員等 | 計 | 成績 |
|----|----------------|------|-----|------|----|
| 個人 | 陸上 | 26人 | 25人 | 51人 | — |
| | 水泳 | 8人 | 6人 | 14人 | |
| | 卓球 | 10人 | 9人 | 19人 | |
| | フライングディスク | 12人 | 8人 | 20人 | |
| | ボウリング | 4人 | 2人 | 6人 | |
| 団体 | バスケットボール男子(知的) | 12人 | 3人 | 15人 | — |
| | バスケットボール女子(知的) | 12人 | 3人 | 15人 | — |
| | バレーボール男子(聴覚) | 12人 | 4人 | 16人 | — |
| | バレーボール男子(知的) | 12人 | 3人 | 15人 | — |
| | ソフトボール(知的) | 12人 | 3人 | 15人 | — |
| | 計 | 120人 | 66人 | 186人 | |

(3) 種目別スポーツ大会の開催

スポーツ・レクリエーション活動を通じて、障害者の体力増強、交流、余暇等に資することを目的に実施する。

※ 2020年度は新型コロナウイルス感染症の影響によりグラウンドゴルフ及びグラウンドソフトボールを除く6競技で中止

○ 2021年実施予定

| 実施競技 | 実施日 | 会場 | 2020参加者数 |
|-------------|-------|---------------|----------|
| ゲートボール | 9月5日 | サンテパークたはら | 中止 |
| アーチェリー | 9月18日 | 猪高緑地アーチェリー場 | 中止 |
| グラウンドゴルフ | 11月7日 | 大日蔭グラウンド・ゴルフ場 | 94人 |
| ボッチャ | 12月8日 | 日本ガイシスポーツプラザ | 中止 |
| 車椅子バスケットボール | 1月23日 | 一宮市総合体育館 | 中止 |
| 卓球(視覚障害) | 調整中 | 調整中 | 中止 |
| 車いすテニス | 調整中 | 東山テニスセンター | 中止 |
| グラウンドソフトボール | 調整中 | 名古屋盲学校 | 25人 |

2 障害者スポーツ参加促進事業について

東京パラリンピック競技大会の成果を次に繋げていくため、障害者のスポーツへの参加促進を図るとともに、一般県民への障害への理解を促進するための取り組みを行う必要がある。

このため、スポーツの経験がない障害者や、スポーツの経験があり、更なる技術向上を希望する障害者を対象とした本事業を実施し、障害者のスポーツへの参加促進を図るとともに、事業を通じて更なる一般県民への障害への理解促進を図ることを目的とする。

(1) 内容

愛知県ゆかりのトップレベルの選手・指導者による講演会及び実技指導（競技体験）

(2) 対象者

スポーツに関心のある障害のある者及び既にスポーツ活動に取り組んでいる障害のある者また、障害のある方の家族や友人及びボランティア

(3) 2020年度実施状況（競技体験のみ）

（2021年度については、現在調整中）

| 競技 | 実施日 | 会場 | 参加者数 |
|-----------|---------|---------------------|------|
| フライングディスク | 10月～11月 | 障害者支援施設（4か所）【施設訪問型】 | 89人 |
| 水泳 | 11月21日 | 安城市スポーツセンター | 59人 |
| 卓球 | 12月6日 | 愛・地球博記念公園体育館 | 40人 |

2020年度の取り組み



2020年度は、左のチラシにより参加者を募集し2競技（水泳・卓球）実施した。

なお、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策として、講演会を実施せずに、実技指導（競技体験）のみ行った。



体験会の様子（卓球）

2020年12月6日

愛・地球博記念公園体育館

3 障害者スポーツ推進事業について

東京 2020 パラリンピックの開催や、愛知・名古屋における 2026 年アジアパラ競技大会の開催検討を契機として、障害者スポーツをより一層推進していくため、2020 年度に有識者等を委員とする検討会議を立ち上げ、障害者スポーツの推進に向けた今後の取組について検討した。

2021 年度以降、検討会議における意見を踏まえた新たな取組を順次実施していくことにより、愛知から障害者スポーツを盛り上げ、スポーツを活かした共生社会をリードしていく。

【2021 年度の取組】

(1) あいち障害者スポーツ連絡協議会の開催

2020 年度の検討会議を引き継いだ、有識者や経済界、医療等を委員とした連携組織を立ち上げる。

(2) ポータルサイトの構築

障害の有無に関わらず誰もがスポーツを楽しむことができる情報交流の場を構築する。

(3) 地域で障害の有無に関わらず誰もが参加できるスポーツプログラムの実施

総合型地域スポーツクラブを活用し、障害のある方も一緒にスポーツを楽しみ、交流できるプログラムを実施する。

(4) スポーツ指導者等への障害者スポーツ勉強会・体験会の実施

住民へのスポーツ指導・助言を行う地域のスポーツ指導者を、障害者スポーツ推進のキーパーソンとして育成する。

4 あいちトップアスリート発掘・育成・強化事業について

国際大会等で活躍が期待できる地元選手を発掘・育成する「あいちトップアスリートアカデミー」にパラアスリート部門を新設し、2026 アジアパラ競技大会や、その後の国際大会等で活躍が期待できる未来のパラアスリートを発掘するとともに、競技団体等と連携して育成する。

5 その他事業 ※2020 年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止

(1) 愛知県精神障害者スポーツ大会（精神障害者バレーボール）の開催

(2) 全国ろうあ者体育大会派遣への補助

(3) 地域交流事業の開催